

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成30年01月17日

計画の名称	生きがいと魅力ある住みよい都市姫路（防災・安全）												
計画の期間	平成28年度～平成30年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	姫路市												
計画の目標	東日本大震災を教訓として、「安全・安心で快適な都市づくり」の観点から、東南海・南海地震等の大規模地震へ対応するため、都市の防災機能の向上を図り、自然豊かで快適な環境・利便都市の実現を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	25	A	25	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 （H28当初）	中間目標値 （H29末）	最終目標値 （H30末）
1	姫路市で実施した大規模盛土造成地の抽出調査（第一次スクリーニング）結果を踏まえ、第二次スクリーニング計画に向けて滑動崩落の発生の可能性を検討するうえで重要になる長期の地下水観測等に重点を置いた安全性の確認のための調査を検討・実施する。 第一次スクリーニング調査の結果抽出した危険度及び優先度の高い大規模盛土造成地のうち、第二次スクリーニング調査実施の要否を判断するために必要な地下水位観測等の調査を実施した割合を測定する。	0%	65%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30		
配分額 (a)	3	3	3		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	3	3	3		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0		
支払済額 (e)	3	3	3		
翌年度繰越額 (f)	0	0	0		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 生きがいと魅力ある住みよい都市姫路（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 関係法令等との適合等 1) まちづくりの目標が関係法令等の目的と適合している。	○
I. 目標の妥当性 関係法令等との適合等 2) 上位計画等との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて街づくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の実現可能性 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 計画の実現可能性 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 計画の実現可能性 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○

計画の名称	1 生きがいと魅力ある住みよい都市姫路 (防災・安全)	交付対象	姫路市
計画の期間	平成28年度 ~ 平成30年度 (3年間)		

